

【積雪・凍結路面での転倒による救急統計について】

寒さが本格化し、積雪や路面の凍結に起因する転倒事故等が増加することが予想されます。

過去5年間（2018年から2022年まで）に積雪・凍結路面での転倒によって231人が救急搬送されています。これら救急事故の予防を図るため、以下のとおり救急統計をまとめましたのでお知らせします。

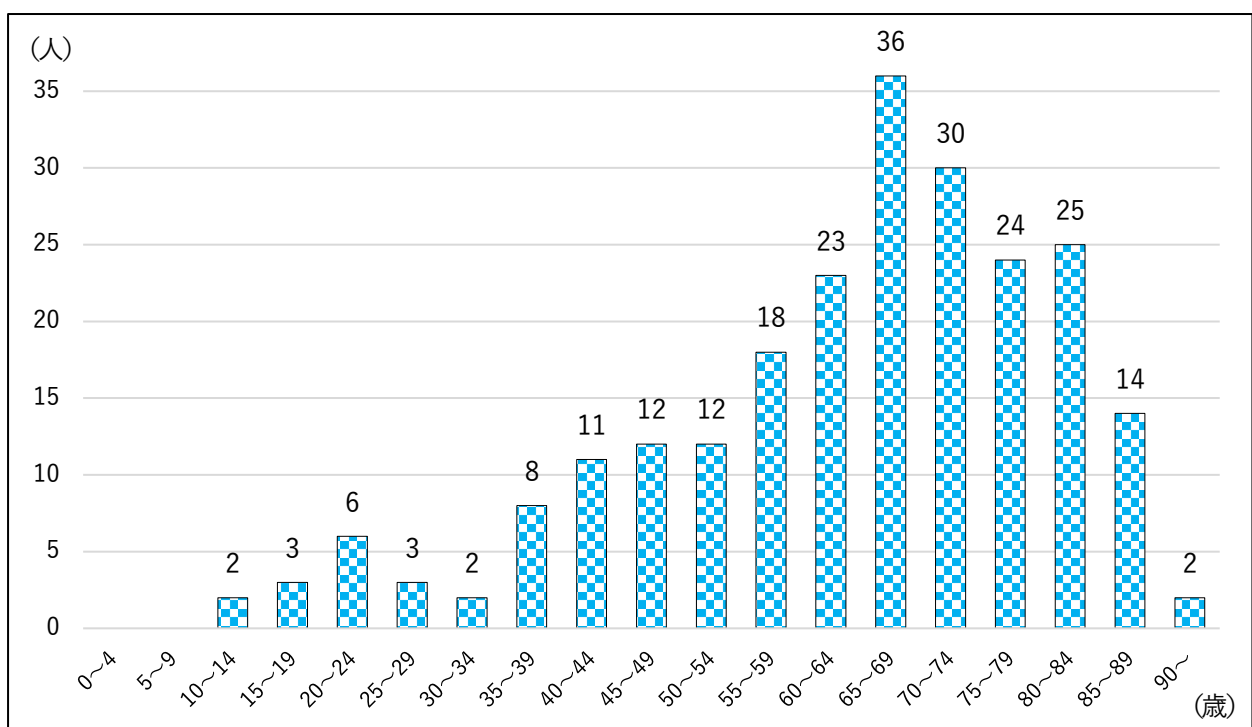
※ 数値は郡山地方広域消防組合管内における過去5年間（2018年から2022年まで）の数値

※ 小数点を含むものは小数第二位を四捨五入した数値

■ 年齢区分別の救急搬送人員

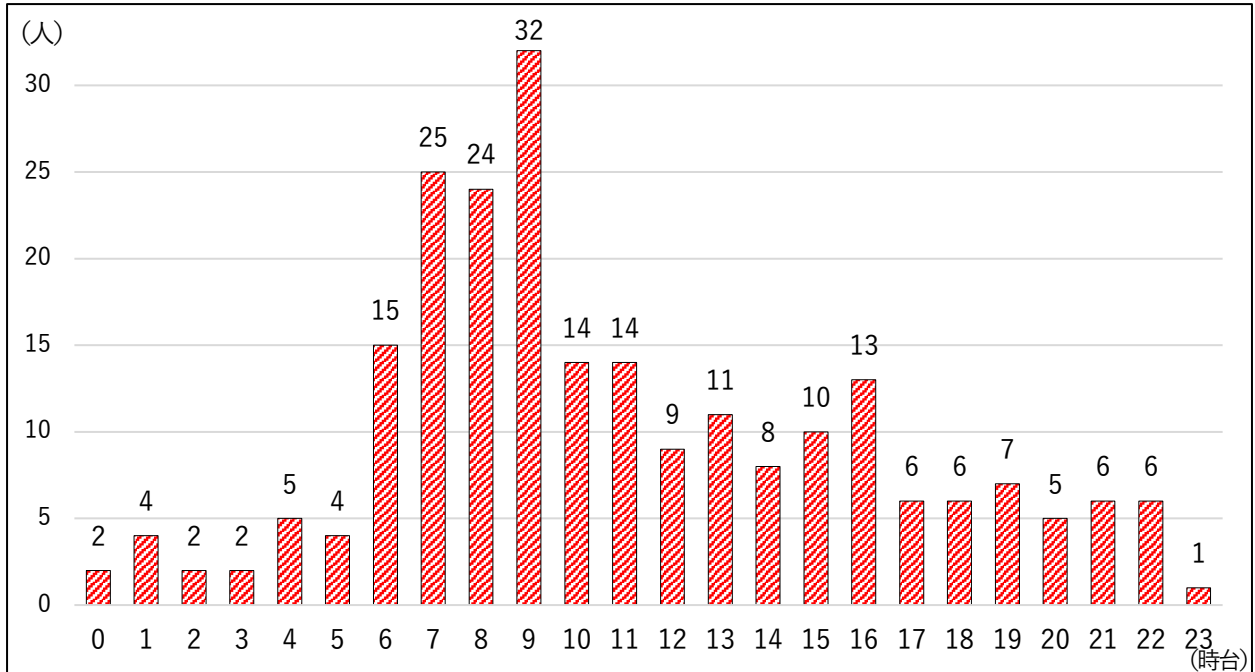
年齢区分別の救急搬送人員をみると、「65歳から69歳」が36人（15.6%）で最も多く、次いで「70歳から74歳」が30人（13.0%）、「80歳から84歳」が25人（10.8%）と続きます。

65歳以上で全体の56.7%（131人）を占めていることがわかります。



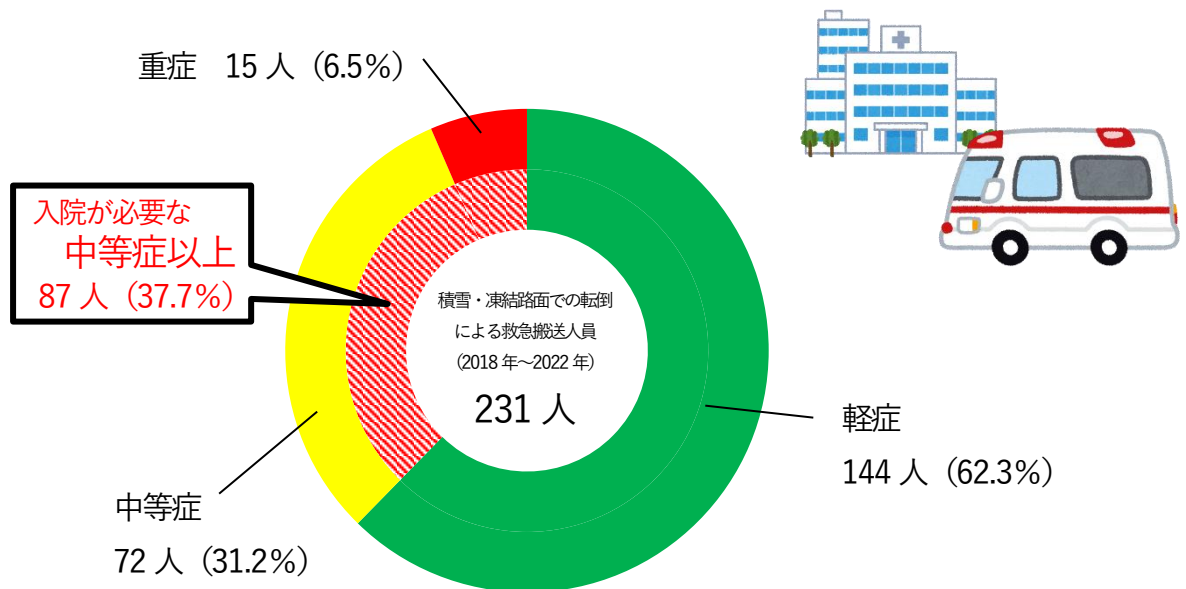
■ 時間帯別の救急搬送人員

時間帯別の救急搬送人員をみると、「9時台」が32人（13.9%）で最も多く、次いで「7時台」が25人（10.8%）、「8時台」が24人（10.4%）と続きます。



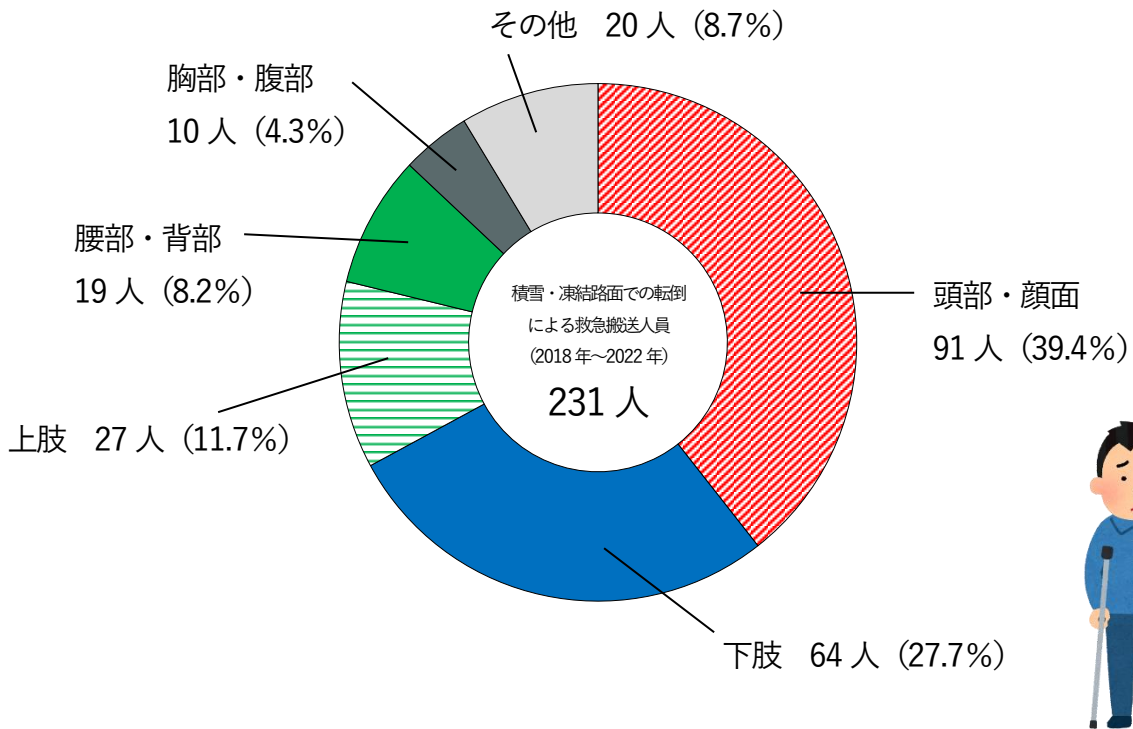
■ 傷病程度別の救急搬送人員

傷病程度別の救急搬送人員をみると、「軽症」が144人（62.3%）で最も多く、次いで「中等症」が72人（31.2%）、「重症」が15人（6.5%）と続きます。



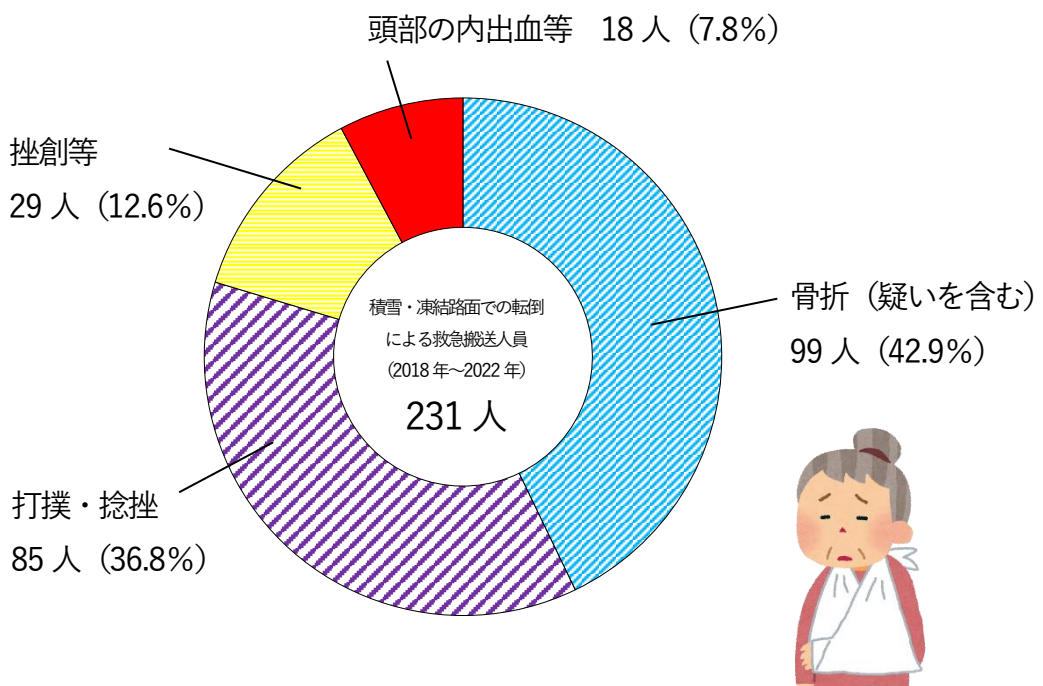
■ 受傷部位別の救急搬送人員

受傷部位別の救急搬送人員をみると、「頭部・顔面」が91人（39.4%）で最も多く、次いで「下肢」が64人（27.7%）、「上肢」が27人（11.7%）と続きます。



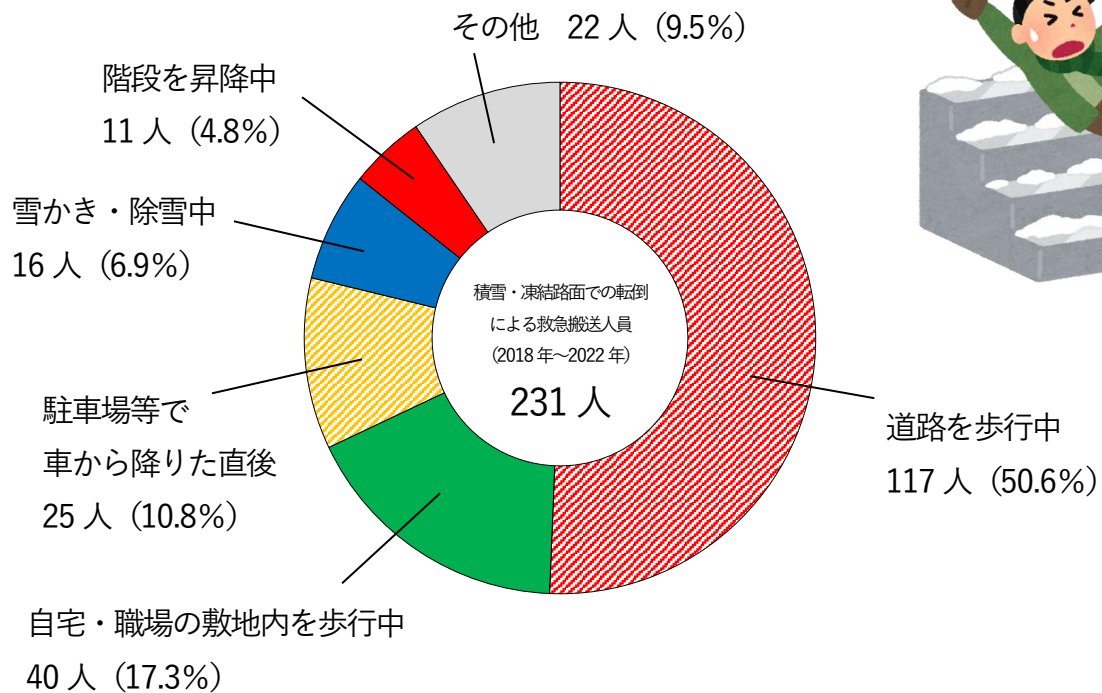
■ 症状別の救急搬送人員

症状別の救急搬送人員をみると、「骨折（疑いを含む）」が99人（42.9%）で最も多く、次いで「打撲・捻挫」が85人（36.8%）、「挫創等」が29人（12.6%）、「頭部の内出血等」が18人（7.8%）と続きます。



■ 転倒時の状況別の救急搬送人員

転倒時の状況別の救急搬送人員をみると、「道路を歩行中」が117人（50.6）で最も多く、次いで「自宅・職場の敷地内を歩行中」が40人（17.3%）、「駐車場等で車から降りた直後」が25人（10.8%）と続きます。



■ 転倒事故の予防対策

- ◇ 天気予報などで事前に情報収集し、時間に余裕を持って行動しましょう。
- ◇ 靴は滑りにくいものを選びましょう。
- ◇ 慌てることなく、足元に気を配りゆっくり歩きましょう。
- ◇ 日陰となっている（なっていた）場所や橋の上は滑りやすいので、特に注意しましょう。
- ◇ 傾斜がある場所や坂道、階段は、特に注意しましょう。
- ◇ 飲酒後は転倒しやすいので注意しましょう。

